



令和8年3月17日

報道関係各位

国立大学法人弘前大学

『白神自然観察園のきのこ(13)』の出版について

【本件のポイント】

- ・白神自然環境研究センターのブックレットシリーズ最新刊が出版された。
- ・西目屋村川原平にある弘前大学白神自然観察園でのキノコの多様性を写真で示す。
- ・同タイトルで13冊目、30種を扱い、これまでの累計で466種のキノコを確認。
- ・狭い範囲からこれほど多様なキノコが確認されることは稀。

【本件の概要】

弘前大学農学生命科学部の白神自然環境研究センターが管理する白神自然観察園は、西目屋村川原平にあり、18 haの敷地にさまざまな林相を見ることができる。

殿内暁夫（教授：農学生命科学部）と白神キノコの会のグループでは、この白神自然観察園に発生するキノコの調査を続け、この度、確認できたキノコの写真をまとめたブックレットシリーズの13冊目が出版された。この冊子では30種のキノコを扱っており、これまでに白神自然観察園で確認されたキノコは変種も含め466種となった。

18haという狭い調査範囲からこれほど多くのキノコ類が確認・記録されることは稀で、白神山地のみならず、日本国内のキノコ類の多様性を理解する上で基礎的かつ貴重なデータとなる。すでに白神山地で見られるキノコ類の大半を網羅、さらに、食用の適・不適も示しているため、北東北のキノコについて学ぶ上で重要な資料である。

このブックレットは希望者には無料で配布される。



ブックレット『白神自然観察園のきのこ (13)』



HIROSAKI
UNIVERSITY

プレス発表資料
PRESS RELEASE

【情報解禁日時】 なし

【取材に関するお問い合わせ先】

（ 所 属 ）	農学生命科学部
（役職・氏名）	教授 殿内暁夫（分子生命科学科）
（電話・FAX）	0172-39-3781
（ E - m a i l ）	symbio@hirosaki-u.ac.jp